

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2026 年 9 月 8 日(火)19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

- 一般講演抄録 2 -

当院における抜歯即時インプラント埋入

八田 知之

はった歯科小児歯科クリニック

キーワード 抜歯即時インプラント埋入 / 骨増生 / リスク診断

■抄録

緒言:上顎前歯部に対するインプラント治療は、審美性と機能性の両立が求められる部位ではあるが、適応症例を適切に選択することにより、

抜歯即時インプラント埋入はリッジプリザベーションを行うことで、

シンプルかつスピーディーな術式で良好な治療結果を得られる。前歯部領域での歯肉や骨の形態維持、治療期間の短縮に有効であり、適切な症例選択と術式で高い成功率と良好な審美性が報告されている。抜歯即時インプラント埋入時にはインプラント体と骨面の間にギャップが存在するが、そのギャップを適切に処置することも重要である。今回、上顎前歯部に対し抜歯即時埋入及びギャップに対し骨増生を行なった症例を提示する。

症例概要：Case1・76 歳女性。転倒による前歯部の修復物脱離により 2025 年 9 月受診。歯根破折の診断のもと抜歯即時インプラント埋入およびフラップレスにてギャップに対する骨増生処置を施行した。3 ヶ月の免荷期間ののち Provisional restoration を経て最終修復物をセメント固定にて装着した。

Case2・77 歳女性。前歯部の修復物脱離を主訴に 2026 年 1 月当院受診。保存不可能なカリエスを認めたため、同年 3 月に抜歯即時インプラント埋入及びフラップ処置を併用した骨増生を施行。

結果：2 症例共に 20 分程度で処置は終了した。術後の腫脹、感染等の異常所見は認めなかった。待時インプラント埋入に併せて骨増生処置を行なった症例に比べ 2 次オペまでの免荷期間は約半分の 3 ヶ月で可能であった。

結論：今回のインプラントの抜歯即時埋入とそれに併せた骨増生処置はシンプルかつスピーディーな治療であることが示唆された。